

6 番	新井 亜由美 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>1. 体育館と全ての教室にエアコンを設置してコロナ感染と熱中症から子どもの命と健康を守り、学びを保障する</p> <p>【趣旨説明】 新型コロナウイルスの感染拡大防止と熱中症対策により、学校での制約が増えており、学校生活に窮屈さや苦痛を感じる子どもや教職員からの声が届いている。感染症の拡大や災害があったとしても子どもたちに必要な学びを保障するために、体育館や教室へのエアコン設置の整備が必要と考える。 更に、災害時には避難所として長期的にも使用される可能性の高い体育館のエアコン設置は緊急の課題と考える。 (次頁に続く)</p>	<p>(1) 6月24日に熱中症により11人の児童が救急搬送された件について</p> <p>(2) 体育の授業中止について</p>	<p>① 市内小学校の5限目運動場でのハードルの授業で1名、6限目体育館でのバレーボールの授業で10名が熱中症で救急搬送されたと報道発表があった。その時の体育の授業に関して適切な環境で行われていたかどうかなど、この件に対する教育委員会の調査結果と見解を伺う。</p> <p>② 教育委員会からは6月に市内小中学校に「マスクを外すこと」と併せて「熱中症予防」と「熱中症対策の優先」が周知されていたが、当該小学校では、日常の施設管理も含めどのような予防や対策が実施されていたか伺う。</p> <p>③ 2020(令和2)年6月には、体育館の熱中症対策として大型冷風機をレンタルで設置、翌2021(令和3)年には、気化式冷風機能付き大型ファンを小学校に1台、中学校に2台購入、更に今年度小学校に1台、中学校に2台を追加購入し設置された。しかし、この日、体育館で使用していなかったのはなぜか伺う。</p> <p>④ 教育委員会がこれまでも周知してきた対策は、学校でも実施してきたにも関わらず、今回のようなことが起きてしまった原因について教育委員会の見解を伺う。</p> <p>① 暑さ指数(WBGT)の計測結果が「31」以上の場合は運動を中止することになっているとのことだが、暑さ指数は何を表し、「31」以上がどのような環境であることから運動を中止としているか伺う。</p> <p>② 暑さ指数(WBGT)が「31」を超えるが工夫すれば体育が実施できる場合や、「31」を下回るが体育の実施が危険な場合はあるか伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。  
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。  
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

6 番	新井 亜由美 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>教育委員会と危機管理課との連携により、子どもたちの学びと発達保障、そして災害時の市民の生活と命を守るための施設整備推進を求めて質問する。</p>	<p>(3) 体育館にエアコンの設置を</p>	<p>③ 暑さ指数 (WBGT) が「31」を超えた時の体育の授業は、規模の小さい学校では教科の入れ替えなどで対応できたようだが、入れ替えが困難な学校ではどのように実施されたか伺う。</p> <p>④ 新型コロナウイルス感染予防と熱中症予防を同時に実施しながら、今年度1学期間の体育の授業は市内小中学校において習得すべきカリキュラムを終えられたか伺う。</p> <p>① 子どもたちの教育・生活の場であると同時に、災害時には避難所として市民の命と生活を守る大変重要な施設である学校施設の整備について、国から事務連絡が何度か届いていた。それは教育委員会だけではなく、災害担当部局に向けても届けられており、両者が連携して適切に対処していくよう記されている。事務連絡の資料の中には、2016 (平成 28) 年に発生した熊本地震を踏まえた緊急提言があり、今後の方針の1つに「災害担当部局が中心となって教育委員会等と連携し、学校施設ごとに避難所として求められる役割・備えるべき機能・施設利用計画等を明確化」とされている。瀬戸市の災害担当部局である危機管理課は、この間のこれらの事務連絡等をどのように受けとめ対応してきたか具体的に伺う。</p> <p>② 危機管理課と教育委員会との協議が本格的に始まっていないと聞いている。異常気象による災害級の暑さ、土砂災害、地震等の発生リスクは高まり、国からの繰り返しの事務連絡等からも緊急度が高まっている。災害時の避難所として防災の観点からも学校体育館のエアコン設置計画の作成が必要と考えるが見解を伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。  
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。  
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

6 番	新井 亜由美 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	(4) 教室のエアコン設置について	<p>③ 今年度2学期や来年の夏に向けて、子どもの命と健康を守り、学びを保障するため、エアコン設置の協議を始めると同時に、設備面での緊急対策が必要と考えるが具体策を伺う。</p> <p>④ 体育の授業に限らず学校行事でも使用する体育館にエアコンが設置されれば、熱中症の危険により授業の合間の放課に外遊びができない場合にも使用でき、走りまわり体を動かすことで子どもたちの心身の発達や健康の維持ができる。危機管理課と教育委員会が連携し、国の補助金等も活用して、学校体育館にエアコンを設置する必要があると考えるが見解を伺う。</p> <p>① 教室のエアコンは児童生徒がより長い時間過ごす普通教室から始まり、特別教室へと順次進めているが、現在の設置状況と完了予定について伺う。</p> <p>② 学校によってはエアコンの使用制限をしているところがあると聞いているが、どのような状況で使用制限をかけているか実態を伺う。</p> <p>③ 新型コロナ対策の換気目的で窓を開けながらエアコンを付けるため、②のように使用制限をかけざるを得ない状況があった場合には、子どもたちの教育活動に支障のないよう対応する必要があると考えるが見解を伺う。</p> <p>④ 特別教室の中でも、常時使用している日本語初期指導や日本語教室の教室では、エアコンの設置されていない特別教室もあると聞いている。子どもが常時使用する教室は、普通教室と同様に優先して設置すべきと考えるが見解を伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。  
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。  
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

6 番	新井 亜由美 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>2. 新型コロナウイルス感染症から市民の命を守るために市民が求める対策を</p> <p><b>【趣旨説明】</b> 過去最悪の第6波の感染拡大を上回るスピードで感染が広がり、瀬戸市は感染者の情報は保健所から入手できなくなり、ダイレクトに支援策を届けることが困難となった。 感染者の健康観察は保健所が継続しているが、重症化リスクのある方以外はショートメッセージになっている。陽性者や濃厚接触者の全ての方が必要な情報や支援策に繋がっているとは言いがたい状況であり、市が自宅療養者に必要な情報を速やかに届ける必要性がある。 (次頁へ続く)</p>	<p>(1) 新型コロナウイルス感染症感染拡大第7波の市内の状況</p> <p>(2) PCR等検査について</p>	<p>① 市内医療機関の診療体制も逼迫していると考えますが、発熱外来を実施している医療機関と瀬戸旭休日急病診療所での受診者数や、市内の自宅療養者数や感染状況をどう把握しているか伺う。</p> <p>② かつてないスピードで感染拡大している第7波の中、感染者への支援と共に、感染の拡大を防止することも優先しなければならないと考える。市民の命を守るために、市が実施してきたこれまでの感染拡大防止対策に加えて、新たな方針や対策があるか伺う。</p> <p>① 感染拡大に対する不安と、お盆などの帰省に備えることもあり、全国的に無症状者の検査の希望者が増えているが、愛知県の実施している「PCR等検査無料化事業」の瀬戸市での利用状況を、市は把握しているか伺う。</p> <p>② 市民が独自にできる感染防止策として、県が実施している①の無症状者への無料PCR等検査について、市民への周知が必要と考えるが見解を伺う。</p> <p>③ 愛知県の実施している高齢者・障害者施設従事者のスクリーニング検査は2週間に1回継続的に実施されてきたが、8月は毎週の検査に増えている。このように検査が継続されていることによる効果について、市の見解を伺う。</p> <p>④ ①③は無症状の方に対する検査を行い感染拡大の防止をするものであり、効果があると考えます。瀬戸市の児童発達支援センターや保育園、小中学校や放課後児童クラブ等で、職員の無症状者に対するPCR等検査が必要と考えるが見解を伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。  
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。  
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

6 番	新井 亜由美 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>また、発熱等による医療機関の受診者が増え医療機関も逼迫している今、感染拡大の防止と、速やかに検査が受けられ受診できる体制の構築と維持を求めて質問する。</p>	<p>(3) 新型コロナ感染症陽性者の把握と支援</p>	<p>① 保健所を通して把握できていた陽性者情報が第6波の途中から入手できなくなって以降、市は自宅療養者の把握ができなくなっていると聞いている。重症化リスクのある方以外は、保健所からはショートメッセージのやりとりによる健康状態の把握であり、以前のような電話による状態の観察はない。瀬戸市で、新型コロナウイルス感染症で亡くなられた方、自宅療養中に重症化した方を把握しているか伺う。</p> <p>② 新型コロナ感染症の陽性になった方々から自宅療養中に直ぐに欲しかった情報として「受診できる医療機関」「食料を手に入れるための支援」だったと聞いている。現在の市のホームページでは、直ぐに必要な情報にたどり着けなかったと言う声も届いている。陽性者がホームページからダイレクトに必要な情報に繋がれるよう、大きく目立つボタンをクリックできるような工夫が必要と考えるが、見解を伺う。</p> <p>③ 陽性になった方が一番欲しかった物として、水分(経口補水液・スポーツドリンク)ゼリータイプの食料、発熱や倦怠感が酷くても食べられる食料、検査キットなどがあげられた。ひとり暮らしや家族全員が感染などの状況で、必要な物品や情報を手に入れることが困難な方に対して、緊急生活支援事業の取り組みとして最低限の飲み物と食料を配布することで、自宅療養者を把握し必要な支援ができると考えるが見解を伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。  
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。  
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

6 番	新井 亜由美 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	(4) 医療機関の診療継続を維持する	<p>④ 日常的にネット検索をしている方々も、感染して意識がもうろうとし、愛知県のお弁当支援や、市の緊急生活支援も検索できなかったと聞いている。陽性者や濃厚接触者、また看病している家族等に対して保健所から届くショートメッセージの情報で全ての方が必要な情報を手に入れ、解決しているとは考えにくい。「新型コロナウイルスの感染で困った時にはこちらへ」と案内し、対応できるコールセンターがあると安心できると考えるが、そのような仕組みやそれに変わるシステムはあるか伺う。</p> <p>① 発熱等があってもかかりつけ医がないため医療機関の受診ができない方や、休日急病診療所で何時間も待機するなどの状況が続いている。感染の疑いのある市民を直ちに診察することで、感染拡大が防止でき、医療機関への負担軽減にもつながるため、瀬戸旭医師会との連携で、現在既存の各医療機関による発熱外来とは別に、コロナの疑いのある発熱患者等を診察する受け皿を別に設置する必要があると考えるが見解を伺う。</p> <p>② 濃厚接触で行動制限がかかっており、無料検査が受けられない方や、自主的な検査をしたいが、検査キットが手に入らない方に対して、市が検査キットを配布することと、瀬戸旭医師会との連携で緊急的に陽性者登録センターの設置をすることで、入院、宿泊療養のリストにも乗り、陽性者に対するサービスを受けられるようになる。速やかに陽性者への支援につなげ、感染拡大を防止し、医療機関の逼迫を軽減できると考える。あくまで緊急対策として、検討する必要があると考えるが見解を伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。  
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。  
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。